

研究発表
1 部会

6月28日(土)
9:30 12:00
2 B 4 0 9

歴 史

司 会 上 笙一郎
細辻 恵子 (京都光華女子大学)

- 9:30 - 9:55 大正自由主義教育にみる「個性」
雲津 英子(安田女子大学大学院)
- 9:55 - 10:20 メディアとしての紙芝居
- 軍国紙芝居と街頭紙芝居 -
鈴木 常勝(大阪市立大学大学院)
- 10:20 - 10:45 日中戦争期の農村青年像に関する一考察
- 長野県竜丘村青年会「傾向調査」より -
瀬川 大 (東京大学大学院)
平野 真穂(進学教室サピックス)
- 10:45 - 11:10 『家の光』の農村女性向け進路記事の分析
木村 壽子(足利短期大学)
- 11:10 - 総括討論

研究発表
2部会

6月28日(土)
9:30 12:00
2B406

子どもの人類学と異文化

司 会 須田 康之(北海道教育大学)
松澤 員子(神戸女学院)

- 9:30 - 9:55 働く子どもの生活と階層化社会としてのインド
- デリーで働く少女Mを事例として -
針塚 瑞樹(九州大学大学院)
- 9:55 - 10:20 文化実践としての学校給食活動
- フィリピンで育った子どもの事例教育 -
真鍋 眞澄(上智大学大学院)
- 10:20 - 10:45 越境する「日本」文化
- ブラジルの日系人青少年たちによる文化の「想像/創造」 -
山ノ内 裕子(九州共立大学非常勤)
- 10:45 - 11:10 「帰国子女」というマイノリティ
渋谷 真樹(奈良教育大学)
- 11:10 - 11:35 人類学的子ども・教育研究の導入と展開
- 自校史的視点から -
坂元 一光(九州大学)
- 11:35 - 総括討論

研究発表
3部会

6月28日(土)
9:30 12:00
2C410

子どもの意識と行動

司 会 馬居 政幸(静岡大学)
大平 滋 (浜松短期大学)

- 9:30 - 9:55 スポーツの中での子どもの社会化
清水 一巳(九州大学大学院)
- 9:55 - 10:20 大学生の回顧調査にみる高校部活動の影響力
長谷川 祐介(広島大学大学院)
- 10:20 - 10:45 学校五日制と子どものゆとりに関する研究
大野木 龍太郎(浜松短期大学)
- 10:45 - 11:10 子どもの学びの過程の認知的・社会的成り立ち
松本 健義(上越教育大学)
- 11:10 - 11:35 高校在学時の夏休みに関する調査研究
南本 長穂(関西学院大学)
- 11:35 - 総括討論

研究発表
4部会

6月28日(土)
9:30 12:00
2C404

子どもの意識と行動

司 会 大野 道夫(大正大学)
森田 洋司(大阪市立大学)

9:30 - 9:55 子どもの老人観に関する研究
中村 真弓(九州大学大学院)

9:55 - 10:20 子どもの遊びと友人観
住田 正樹 (九州大学)
横山 卓 (九州大学大学院)
溝田 めぐみ(九州大学大学院)

10:20 - 10:45 携帯電話で結ばれた青少年の人間関係の特質
石井 久雄(明治学院大学)

10:45 - 11:35 いじめの回顧的調査研究
- 大学生の「いじめ・いじめられ体験」とその後遺症 -
深谷 和子(東京成徳大学)
斎藤 浩子(山村学園短期大学)
熊沢 幸子(昭和女子大学)
羽矢 節子(北林クリニック)

11:35 - 総括討論

研究発表
1 部会

6月28日(土)
13:30 15:30
2 B 4 0 9

ジェンダー

司 会 近藤 弘 (立教大学)
森 繁男 (京都女子大学)

- 13:30 - 13:55 韓国の高校生の性役割規範の男女差について
佐々木 正徳(九州大学大学院)
- 13:55 - 14:20 「ジェンダー・フリー教育」にみる実践のエピファニー(2)
池田 隆英(広島大学大学院)
- 14:20 - 14:45 ジェンダー・フリーな教育を目指しての実践
杉野 陽子(栃木市立栃木第五小学校)
- 14:45 - 15:10 子どものジェンダー形成における「主体」と「権力」
藤田 由美子(九州保健福祉大学)
- 15:10 - 総括討論

研究発表
2部会

6月28日(土)
13:30 15:30
2B406

育児問題

司 会 石川 洋子(文教大学)
湯川 秀樹(聖徳大学短期大学部)

- 13:30 - 13:55 子育て支援サークルの活動基盤
- X市のサークルを事例として -
渡辺 恵(筑波大学大学院研究生)
- 13:55 - 14:20 母親の育児不安・育児肯定感とソーシャル・サポートとの関連
荒牧 美佐子(お茶の水女子大学大学院研究生)
田村 毅 (東京学芸大学)
- 14:20 - 15:10 周産期の夫婦関係と子育て(第三報)
倉持 清美(東京学芸大学)
中澤 智恵(東京学芸大学)
田村 毅 (東京学芸大学)
岸田 泰子(島根医科大学)
木村 恭子(武蔵野日赤短期大学) 他
- 15:10 - 総括討論

研究発表
3部会

6月28日(土)
13:30 15:30
2C410

学 校

司 会 古賀 正義(中央大学)
南本 長穂(関西学院大学)

- 13:30 - 13:55 教師の悩みと成長
- 生徒との人間関係を中心に -
都丸 けい子(筑波大学大学院)
- 13:55 - 14:20 子どもの発達と対人関係に関する実証的研究
田中 理絵(山口大学)
水田 善之(山口大学大学院)
- 14:20 - 15:10 学校価値と子どもたち
秦 政春(大阪大学)
林 毅(大阪大学大学院)
清 富佐子(大阪大学大学院)
澤野 千絵(大阪大学大学院)
- 15:10 - 総括討論

研究発表
4部会

6月28日(土)
13:30 15:30
2C404

保 育

司 会 市川 薫子(私立大和幼稚園)
西田 忠男(島根大学)

- 13:30 - 13:55 通園バスにおける子どもの「遊び」の実態について
浅野 由子(日本女子大学大学院)
- 13:55 - 14:20 自由着席場面における幼児の席とり行動
青井 倫子(愛媛大学)
山根 彩 (えひめ学園)
- 14:20 - 14:45 子ども参加・参画型保育の現状と課題
爾 寛明(群馬社会福祉大学)
- 14:45 - 15:10 保育環境のトポス性について
- 幼児理解における状況性 -
小川 博久(日本女子大学)
- 15:10 - 総括討論

「日本子ども社会学会・会員調査」報告

コーディネーター 武内 清 (上智大学)

発表者 中田 周作 (広島国際大学)
小針 誠 (日本学術振興会特別研究員)
浜島 幸司 (上智大学大学院)

日本子ども社会学会は、10年間の草創期を経て、次の時代・発展段階に入りつつある。これまでの10年の間にも学問的方向性や研究対象・方法論をめぐってさまざまな模索がなされてきた。こうした模索を継続しつつ、次の時代・発展段階に向けて、新しい方向をみざす時期にさしかかっている。

「将来構想委員会」(原田委員長)では、「調査専門委員会」をおき、これからの本学会のあり方を検討するための資料を得る目的で、2002年秋に、「日本子ども社会学会・会員調査」を実施した。「調査専門委員会」のメンバーは、上記以外に、原田彰(呉大学)、飯田浩之(筑波大学)、新富康央(佐賀大学)、望月重信(明治学院大学)である。

調査内容は、(1)学会入会理由、(2)研究分野、(3)研究方法・研究スタイル、(4)学会活動の4点のテーマにわたっている。報告では、学会全体の傾向とともに、会員の諸属性(性別、年齢コホート、専攻分野など)による回答の分析や、さまざまな視点からの考察をおこなう。これをもとに、日本子ども社会学会の現状分析と将来展望を議論したいと考えている。

報告書を当日配布する予定。多くの会員の参加を希望する。

幼稚園における幼児の遊びの集団性と個のかかわり - 遊びの実践と研究をめぐって -

企画者	小川 博久（日本女子大学） 岩田 遵子（県立新潟女子短期大学）
司会	小川 博久
話題提供者	早野 和美（小田原市立前羽幼稚園） 実践者の立場から 岩田 遵子 映像編集者の立場から 岡 健（大妻女子大学） 研究同人の立場から 小川 哲男（昭和女子大学短期大学部） 研究同人の立場から 杉山 哲司（日本女子大学） 研究同人の立場から
指定討論者	河邊 貴子（立教女子短期大学） 久保寺 節子（港区立麻布幼稚園）

本ワークショップは、企画者らによって現在行っている文部科学省科学研究費基盤研究(B)(1)「学校の余暇時間における校庭の遊び 児童の居場所を求めて」(3年間)の初年度のフィールドワークのデータ(幼稚園の実践例)をめぐって、幼児の遊びの実態把握における集団と個のとらえ方について、参加の方々と意見交換をしたいと思う。

これからの子ども社会研究をどうすすめるか？(その2) - 21世紀の子ども社会研究の方法を探る -

コーディネーター 望月 重信(明治学院大学)

話題提供者 持田 良和(龍谷大学)
山田 富秋(京都精華大学)
馬居 政幸(静岡大学)

昨年(2002年 岡山大学)に引き継いで2回目の開催です。今回はラウンドテーブルということで自由な雰囲気のもとでさまざまなお考えが会員の皆さまから提起されればと期待しています。

ここ数年の教育改革には凄まじいものがあり、現場(教室や地域)では子どもの現実構成をじっくりと捉える視点が不在のままに改革実践が求められています。

まず改革のなかにどういう「子ども観」があり、それを学校(地域)という磁場でどう活かそうとしているのか。行政の子ども観と「現実の子ども」と教育関係者の子ども観との「齟齬」についてしっかりと明らかにしたいものです。

また、おとな社会と子ども社会をどう考えていくべきか、おとなのまなざしからのみの子ども「変容」を期待していないか、アリエス以来の「子どもの発見」の近代性構造が問題視されているなかで、子ども研究の方法と視座も問われていると思われまます。

この際、子ども研究の「学際性」を抉り、いったい学際的アプローチによって子どもの「何が視えて何が見えにくくなっているのか」についても考えてみたい。日常的に子どもの現実にかかわっている立場から、子ども研究者(大学人)への注文、子どもの本質とは、子どもの行方とは、子ども研究は何のため、などなどポレミクな対論の場となることを期待しています。

子どものセクシュアリティ(その3)

コーディネーター 岸澤 初美 (川崎市立看護短期大学)
近藤 弘 (立教大学)

話題提供者 小宮 明彦 (早稲田大学大学院)
品川 ひろみ (北海道大学大学院)

子どもとセクシュアリティに関して、これまで2回とりあげてきましたが、今回は以下のような話題を提供してもらい、さらに議論を深めていきたいと思えます。

前回に引き続き、小宮明彦(早稲田大学大学院)に子ども社会にみる性的マイノリティに関してイギリスでの1年間の成果を報告してもらいます。

さらに、今回は子育てと母親のジェンダー意識に関する調査を実施した品川ひろみ(北海道大学大学院)に、母親からみた子どものセクシュアリティに関する調査結果も含めて報告してもらいます。

これらの話題提供を受けて、参加者間で活発な議論を展開してもらえたらと願っています。

関心のある人びとの積極的な参加を期待しています。

保 育

司 会 木村 敬子(聖徳大学)
竹内 通夫(金城学院大学)

- 9:30 - 9:55 幼児の遊びにおけるモノの形成的役割(2)
- ごっこ遊びにおける保育者の身体的関与の検討を通して -
根津 明子(埼玉純真女子短期大学)
- 9:55 - 10:20 保育者の保育スタイルに関する研究
上田 敏文(高知学園短期大学)
小坂 圭子(福山平成大学)
- 10:20 - 10:45 保育における「子ども文化」生成を媒介する教師の役割
- 共同生成の担い手として -
岩田 遵子(県立新潟女子短期大学)
- 10:45 - 11:10 保育園実習に見る看護学生の子ども観
大池 美也子(九州大学)
松木 美奈子(九州大学)
東野 充成(九州大学大学院)
- 11:10 - 11:35 多文化保育に関する考察
萩原 元昭(江戸川大学)
三井 真紀(湊川短期大学)
- 11:35 - 総括討論

研究発表
2部会

6月29日(日)
9:30 12:00
2B406

子ども文化とメディア

司 会 井戸 和秀(岡山大学)
海後 宗男(筑波大学)

- 9:30 - 9:55 「名探偵コナン」のキャラクター受容
畠山 兆子(梅花女子大学)
- 9:55 - 10:20 TVアニメ「名探偵コナン」の物語享受
松山 雅子(大阪教育大学)
- 10:20 - 10:45 乳幼児期における音楽的コミュニケーションの事例研究
加藤 晴子(兵庫教育大学大学院)
- 10:45 - 11:10 伝承子守唄の継承と再生に向けて
- 日本とスコットランドの取り組み -
鵜野 祐介(梅花女子大学)
- 11:10 - 11:35 ラオスでの紙芝居の普及
堀田 穰 (京都学園大学)
- 11:35 - 総括討論

育児問題

司 会 林 ムツミ (福岡県立大学)
牧野 暢男 (日本女子大学)

- 9:30 - 9:55 子どもの数と育児不安
溝田 めぐみ(九州大学大学院)
- 9:55 - 10:20 子育て支援の在り方についてその方向性への検討
- 「ハートpopo・jr」におけるアンケート調査及び育児者からの相談をととした -
島崎 幸恵(社会福祉法人 深高会「子育て支援センター」)
- 10:20 - 11:10 母親の育児行動と育児不安の要因に関する考察
1. 母親の育児行動 2. 育児不安の要因分析
神田 和恵 (フリース・インター)
三枝 恵子 (埼玉県立松山高校)
深谷 野亜 (松蔭女子大学)
馬場 康宏 (東京成徳短期大学)
深谷 昌志 (東京成徳短期大学)
- 11:10 - 11:35 父親の育児関与に関する考察
深谷 野亜 (松蔭女子大学)
三枝 恵子 (埼玉県立松山高校)
神田 和恵 (フリース・インター)
深谷 昌志 (東京成徳短期大学)
- 11:35 - 総括討論

研究発表
4部会

6月29日(日)
9:30 12:00
2C404

学 校

司 会 永井 聖二(群馬県立女子大学)
黄 順姫(筑波大学)

9:30 - 9:55 「サポート校」生徒における「学校」の意味
遠藤 宏美(筑波大学大学院)

9:55 - 10:45 現代高校生にとっての「高校」()
片山 悠樹(大阪大学大学院)
西田 亜希子(大阪大学大学院)
秦 政春(大阪大学)

10:45 - 11:35 高度経済成長期における農山村の中学生の生活体験と現在の教育観の構成
- 長野県K町・N村の中学校卒業生調査を手がかりとして -
岡崎 友典(放送大学)
春日 清孝(明治学院大学非常勤)
小針 誠(日本学術振興会特別研究員)
大畠 常晴(放送大学大学院)

11:35 - 総括討論

研究発表
5部会

6月29日(日)
9:30 12:00
2C407

子どもの意識と行動

司 会 磯崎 三喜年(国際基督教大学)
上杉 孝實(龍谷大学)

- 9:30 - 9:55 不登校児童・生徒と生き方に関する実存的態度
加藤 陽子(早稲田大学大学院)
- 9:55 - 10:20 映像メディアがひらく対話への契機をめぐって
- ドキュメンタリー映画「home」が問いかけるもの -
島田 佳枝(東京学芸大学大学院)
- 10:20 - 10:45 メディア時代の子育て
小林 紀子(小田原女子短期大学)
- 10:45 - 11:10 「居場所」の心理的機能の構造と発達的变化
杉本 希映(筑波大学大学院)
庄司 一子(筑波大学)
- 11:10 - 総括討論

ラウンドテーブル3 (第2日・昼休みの展示と実演)

6月29日(日)
12:00 13:20
2H101ポーチ

紙芝居の展示と保存

コーディネーター 堀田 穰(京都学園大学)

紙芝居展示を行った博物館学芸員、また紙芝居コレクションを収集した図書館司書などをゲストに予定し、展示や保存の問題に触れる。また、紙芝居の実演者にも参加してもらおう。また、交渉中だが、水戸にも街頭紙芝居を所蔵し、トラックの可動式荷台に展示をした移動展示車をお持ちの方にも参加していただきたいと考えている。

子どもの発達に異変は起っているのか？

司会：田中 統治(筑波大学)
原田 彰 (呉大学)

パネリスト

小児科医の立場から	家島 厚 (茨城県立子ども福祉医療センター)
心理臨床家の立場から	深谷 和子(東京成徳大学)
発達心理学の立場から	岩立 京子(東京学芸大学)

指定討論者

金井 雅子(東京都児童相談センター)
加野 芳正(香川大学)

90年代に入ってから、教育の現場で子どもたちの発達状況に異変が起っているのではないかという指摘がなされている。その多くは発達の遅れや乱れを指摘するものである。果たして、こうした発達の異変が起っているのかどうか、仮に起っているとすれば、それはどんな特徴をもっていて、これにどう対処することが必要であるのか。

このシンポジウムでは、小児科医、心理臨床家、そして発達心理学者の立場から、この問題についてそれぞれご発言をいただき、さらに児童相談所の専門家と、教育社会学の研究者に討論をお願いした。子どもの発達をめぐる今日的な課題と解決の方途を探っていくことにしたい。